

都留市バイオマスタウン構想を策定しました

市では、森林の再生や市内の豊富なバイオマスエネルギーの有効活用に向け、約40名からなる都留市バイオマスタウン推進地域協議会において、大学生や市民、事業者などと市が一体となつて、バイオマスタウン構想の策定を行ってきました。また、パブリック・コメントを実施し、市民の皆さんからの意見を聴きました。その結果、市は2月26日付けで農林水産省からバイオマスタウンに指定されました。

バイオマスタウン構想では、関係機関と協力しながら、主に次の項目に取り組み、生ごみなどの廃棄物系バイオマスの90%以上、間伐材などの未利用系バイオマスの40%以上を有効活用します。

【主要取組項目】

- ①薪ストーブや活性炭ボードなどの地域素材の活用
- ②し尿処理施設の改修による汚泥やし尿の堆肥化の検討



バイオマスタウン推進地域協議会の様子。市民、学生、事業者と一緒に協議しました。

- ③コンポストの普及による生ごみの堆肥化の促進
- ④給食センターに併設されるBDF施設を活用し、給食配送車の燃料として活用
- ⑤失業者や障害者雇用による耕作放棄地活用
- ⑥植物工場などの施設園芸普及

【用語説明】

※1 バイオマス

再利用できる生物由来の資源のこと（薪や炭など）。

※2 バイオマスタウン構想

地域の関係者の連携のもと、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた地域内総合的利活用システムを構築・運営する構想のこと。

※3 コンポスト

家庭から排出される生ごみなどの有機物を分解し、堆肥をつくる機器のこと。生ごみ処理機のこと。

※4 BDF

バイオディーゼルフューエルの略で、生物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料のこと。

都留市バイオマスタウン構想の全文は政策形成課で配布しています。また、市ホームページでも閲覧できます。

問合せ 政策形成課 政策担当

せっかく住んでいるまちだから

あなたのステキを 活かしてみよう！

『きらめき女性塾』塾生募集

「都留市」と聞いて、あなたは何が浮かんできますか。自分が住んでいる都留市をどれだけ知っていますか。そんなところから「きらめき女性塾」は始まります。

「今まで市政なんて気にしたことがない」という方がほとんどですが、実際見て、聞いて、学んでみると自分気づきが始まります。あなたの中に眠っているステキが、より良いまちづくりに活かせるきっかけとなります。

きらきら輝いて、めきめき力をつけてみませんか。

募集人員 20歳以上の女性20名

申込締切 4月30日(金)



自分の夢をまちづくりに活かしてみませんか!!



昨年度はこのような学習を行いました!!



地域医療の現状と市立病院について市立病院院長と事務局長から説明を受けました。



食生活改善推進委員から食育の説明を受けた後、実際に水かけ菜粉末入りのニョッキを作りました。



ウォーキングトレイルを散策し、商家資料館で市の歴史講習を受けました。



市長が講師となり、市の施策などの説明を聞き、意見交換を行いました。



修了生のAさん

慣れない場所で知らないことを学ぶのは緊張しましたが、市の現状が良く分かり、考えさせられました。ニョッキもおいしかったです。

申込・問合せ 政策形成課 企画担当 Eメール kikaku1@city.tsuru.lg.jp